

新型コロナウイルス感染防止対策に向けての市長メッセージ

【市長メッセージ】

市民のみなさまには、新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力を賜り感謝いたします。

新型コロナの感染者数は、昨年9月末には第5波が収まり、一旦は落ち着いた状況にありましたが、昨年末より新たな変異株「オミクロン株」の市中感染が確認され、現在、感染が急拡大し第6波の渦中にあります。

（3回目のワクチン接種について）

現在の感染拡大を防止するためには、3回目のワクチン接種を1日でも早く行っていただくことが必要であると考えております。

これまでは、2回目のワクチン接種完了から8か月以上経過した人から順次、接種することが原則になっておりましたが、国の方針変更により接種を前倒しすることになっております。

このようなことから、2月から本格的に始まりました3回目接種につきましては、1回目・2回目の経験やノウハウを生かしながら、市と市医師会との強固で友好的な関係を維持しながら、決して、他の市町村と接種について格差が生じることの無いよう、強い意気込みを持って、希望する市民の皆さんへ接種を実施して参りたいと考えております。

特に65歳以上の高齢者の皆さんにつきましては、2月中に接種が完了するよう努力をいたします。

また、3回目のワクチン接種において、1回目、2回目の接種とは異なるワクチンの接種、いわゆる「交互接種」をためられる方が、多くいらっしゃるという報告を受けております。

専門家の先生方の見解は、ファイザー社製のものであっても、武田／モデルナ社製のものであっても、また、「交互接種」であっても、いずれも、十分な効果と安全性があると発表されております。

先日2月5日には、65歳以上である私と副市長が先頭に立ち、武田／モデルナ社製のワクチン接種のトップバッターを引き受けさせていただきました。

ワクチン接種を希望する皆様には、ワクチンの種類にこだわることなく、感染拡大防止の切り札である3回目のワクチン接種を、一日でも早く行っていただきますようお願いいたします。

（自宅療養者等の生活支援について）

ワクチン接種と共に、感染拡大により増加している自宅療養者等がご苦労されていることを受け、このような方々への支援についても大事なものと考えております。

桜井市では、昨年6月から、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等で、感染拡大の可能性があります、自宅待機が求められ、外出ができなくなった市民の方に対し、要望があれば、日用品や食料品などの買い物や薬の受け取りを代行する生活支援サービスを実施しています。

この度、これに加えて、オミクロン株の感染拡大を受け、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者並びに自宅からの外出ができない濃厚接触者で、同居家族等の支援を受けることができない市民の皆さんを対象に、日常生活の支援及び感染拡大防止の観点から、食料品の支援を行う事業を新たに実施いたします。

支援内容といたしましては、概ね5日分の食料品をパッケージ化して対象者1人に対し1個を無償で提供いたします。

このように桜井市といたしましては、市民の皆様に安心してワクチン接種を受けていただけるよう、また、自宅療養や、濃厚接触者となり自宅待機することになったとしても、安心して生活ができますよう、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き感染防止対策の徹底と、市の感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

令和4年2月10日